



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 フルサト・マルカホールディングス株式会社
コード番号 7128 URL <https://www.unisol-gr.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古里 龍平
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 藤井 武嗣 TEL 06-6946-1600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	119,968	△7.2	2,718	△42.0	3,404	△36.9	3,948	2.3
2023年12月期第3四半期	129,311	9.3	4,683	11.8	5,391	6.5	3,859	14.3

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 3,576百万円 (△21.8%) 2023年12月期第3四半期 4,576百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	162.94	—
2023年12月期第3四半期	153.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	118,924	73,486	60.9	3,006.45
2023年12月期	120,342	72,719	59.7	2,945.65

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 72,467百万円 2023年12月期 71,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	10.00	—	56.00	66.00
2024年12月期	—	30.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	77.00	107.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2024年12月期期末配当金の内訳 普通配当 45円00銭 特別配当 32円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,200	△5.7	3,800	△33.4	4,600	△30.9	4,550	△3.2	187.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期3Q	25,204,786株	2023年12月期	25,174,214株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	1,100,721株	2023年12月期	786,349株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期3Q	24,229,612株	2023年12月期3Q	25,192,180株

(注) 期末自己株式には「役員向け株式給付信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式 (2024年12月期第3四半期 259,801株、2023年12月期 169,584株) が含まれております。また、「役員向け株式給付信託」、「従業員向け株式給付信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、2023年12月30日をもって、従業員向け株式給付信託は終了しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復する中であって、個人消費の改善は足踏み状態となっており、製造業の設備投資においても持ち直しの動きに足踏みが見られました。同期間における米国経済は、金融引締めから緩和へ向かい、景気後退の回避が期待されています。今後、住宅や自動車、耐久消費財といった金利に敏感な産業での需要回復が見込まれています。中国経済は、内需低迷による景気減速が続いており、回復には時間がかかることが想定されています。政局や不安定な国際情勢など懸念材料も多く、景気の先行きは不透明な状況となっています。

また、当社グループに関係が深い統計指数は、次のようになっています。

機械工具関連において、工作機械受注は7-9月期で内需は前年同期比8.9%減、外需は同3.2%増となりました。鉦工業生産は7-9月期で同1.5%減となり、持ち直しの動きがみられました。

建設関連において、建築着工床面積は前年同月比マイナスが11ヶ月連続となり7-9月期は同6.7%減となりました。新設住宅着工戸数も5月以降マイナスが続いており7-9月期は同2.0%減となりました。

このような状況の下、当社グループは、「『叶えたい』が、あふれる社会へ。」を実現したい未来に掲げ、経済的価値と社会・環境価値の両立を目指し、持続的な企業価値の向上に向けた「資本コスト経営」の方針の下、ROIC経営の推進、株主還元の強化、人的資本経営などを進めています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は119,968百万円（前年同期比9,343百万円、7.2%減）となりました。損益面では、減取の影響と、営業費と人件費が増加したことなどにより、営業利益は2,718百万円（前年同期比1,965百万円、42.0%減）、経常利益は3,404百万円（前年同期比1,986百万円、36.9%減）となりました。政策保有株式売却による特別利益計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,948百万円（前年同期比88百万円、2.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

(機械・工具セグメント)

国内機械分野は直需、卸ともにマイナスとなり、売上高は前年同期比1桁減となりました。自動車、半導体を中心とした国内設備投資減少の影響を受けた一方で、省人化・合理化投資案件等の受注は増加傾向が見られました。

海外機械分野は北米、中国、東南アジア各事業とも顕著な改善の動きが見られず、売上高は同2桁減の状況が続いています。北米事業は高金利や大統領選前の買い控えの影響を受けましたが、日系企業向けを中心に受注は回復傾向にあります。中国事業においては第2四半期に続いて日系自動車メーカーを中心とした受注の回復が見られず苦しい状況となりました。東南アジア事業は国ごとにバラつきがあるもののトータルではマイナスとなりました。

国内工具分野はボリュームが大きい卸の回復により売上高は同微増となりました。直需は自動車を中心に影響が残る回復傾向は見られませんが、卸では機械加工など主力業種の動きはまだ鈍いものの環境対策など設備案件において動きが見られました。

以上の結果、機械・工具セグメントの売上高は78,447百万円（前年同期比9,884百万円、11.2%減）となり、営業利益は1,305百万円（前年同期比1,888百万円、59.1%減）となりました。

(建設資材セグメント)

鉄構資材分野は中小型案件および地方案件が低調であったことに加え、主要製品においては競争激化の影響で価格の下落が見られたこと等により、売上高は第2四半期の微増から微減へと転じました。

配管資材分野は大口案件の減少やステンレス商品等の価格低下の影響が軽減し好転の兆しが見られ、売上高は前年同期比1桁減とマイナス幅は縮小しました。

住宅設備分野は新築住宅が減少する中で大口ユーザー向けや施工付きリフォーム案件の増加、前年の給湯器供給不安の解消などにより、売上高は同1桁増となり第2四半期よりプラス幅は大きくなりました。

以上の結果、建設資材セグメントの売上高は33,147百万円（前年同期比428百万円、1.3%減）となり、営業利益は1,256百万円（前年同期比307百万円、19.6%減）となりました。

(建設機械セグメント)

新車においては主力商品を中心に受注は増加傾向にありましたが、売上は納期遅れ等の影響を受けました。新車価格の高騰による中古車需要は底堅いものの競合によって収益の低下が見られました。

以上の結果、建設機械セグメントの売上高は5,598百万円（前年同期比463百万円、9.0%増）となり第2四半期から減速しました。営業利益は87百万円（前年同期比65百万円、293.7%増）となりました。

（IoTソリューションセグメント）

プロジェクトでの大型案件の確保やクラウドサービスの受注が好調であったことに加えて経費削減効果により、増収増益となりました。

以上の結果、IoTソリューションセグメントの売上高は2,775百万円（前年同期比505百万円、22.3%増）となり、営業利益は175百万円（前年同期比141百万円、418.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は84,335百万円、固定資産は34,589百万円となり、その結果、資産合計は118,924百万円で、前連結会計年度末と比べ1,417百万円減少しました。現金及び預金が5,285百万円、有形固定資産が383百万円増加し、受取手形及び売掛金が5,201百万円、投資有価証券が1,970百万円減少したことなどによります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は43,533百万円、固定負債は1,904百万円となり、その結果、負債合計は45,437百万円で、前連結会計年度末と比べ2,185百万円減少しました。契約負債が1,784百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,221百万円、電子記録債務が1,442百万円、短期借入金が206百万円減少したことなどによります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は73,486百万円で、前連結会計年度末と比べ767百万円増加しました。利益剰余金が1,842百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1,072百万円減少したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年7月26日に「2024年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想から修正しておりません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,750	27,035
受取手形及び売掛金	31,365	26,164
電子記録債権	11,743	10,481
リース投資資産	23	10
商品及び製品	11,535	11,895
仕掛品	2,884	2,815
原材料及び貯蔵品	442	425
その他	4,487	5,529
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	84,207	84,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,546	11,889
機械装置及び運搬具（純額）	922	1,114
工具、器具及び備品（純額）	567	703
貸与資産（純額）	1,049	1,000
リース資産（純額）	239	212
土地	10,416	10,047
建設仮勘定	2,887	43
有形固定資産合計	24,628	25,011
無形固定資産		
のれん	992	908
営業権	960	840
その他	884	1,147
無形固定資産合計	2,837	2,895
投資その他の資産		
投資有価証券	5,145	3,174
退職給付に係る資産	1,082	1,093
繰延税金資産	415	538
その他	2,112	1,981
貸倒引当金	△87	△107
投資その他の資産合計	8,669	6,681
固定資産合計	36,134	34,589
資産合計	120,342	118,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,777	16,556
電子記録債務	16,706	15,263
短期借入金	896	689
1年内返済予定の長期借入金	47	47
リース債務	90	59
未払法人税等	1,152	1,228
契約負債	4,631	6,415
賞与引当金	703	1,225
役員賞与引当金	57	34
製品保証引当金	68	66
従業員株式給付引当金	111	—
その他	2,862	1,947
流動負債合計	45,105	43,533
固定負債		
長期借入金	451	415
リース債務	189	179
繰延税金負債	1,070	529
役員退職慰労引当金	52	60
役員株式給付引当金	49	48
退職給付に係る負債	158	172
その他	546	498
固定負債合計	2,517	1,904
負債合計	47,623	45,437
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	27,334	27,261
利益剰余金	37,544	39,387
自己株式	△1,746	△2,376
株主資本合計	68,132	69,272
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,161	1,089
繰延ヘッジ損益	△1	6
為替換算調整勘定	1,462	2,026
退職給付に係る調整累計額	83	72
その他の包括利益累計額合計	3,705	3,195
非支配株主持分	881	1,019
純資産合計	72,719	73,486
負債純資産合計	120,342	118,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	129,311	119,968
売上原価	108,886	100,754
売上総利益	20,425	19,214
販売費及び一般管理費	15,741	16,495
営業利益	4,683	2,718
営業外収益		
受取利息	51	79
受取配当金	110	110
仕入割引	340	317
受取賃貸料	75	63
為替差益	70	47
その他	165	181
営業外収益合計	814	800
営業外費用		
支払利息	26	21
賃貸収入原価	36	36
その他	43	56
営業外費用合計	106	114
経常利益	5,391	3,404
特別利益		
固定資産売却益	260	327
投資有価証券売却益	—	2,269
特別利益合計	260	2,597
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	7	2
関係会社出資金評価損	7	—
特別損失合計	17	3
税金等調整前四半期純利益	5,634	5,997
法人税、住民税及び事業税	1,902	2,138
法人税等調整額	△157	△176
法人税等合計	1,744	1,962
四半期純利益	3,889	4,035
非支配株主に帰属する四半期純利益	30	87
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,859	3,948

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	3,889	4,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	684	△1,072
繰延ヘッジ損益	△32	8
為替換算調整勘定	31	616
退職給付に係る調整額	3	△11
その他の包括利益合計	686	△458
四半期包括利益	4,576	3,576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,508	3,437
非支配株主に係る四半期包括利益	67	139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月21日開催の取締役会決議に基づき、自己株式378,700株の取得を行いました。

上記のほか、単元未満株式の買取りによる取得、自己株式の処分や消却により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が630百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,376百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	1,094百万円	1,236百万円
のれんの償却額	23	84

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機械・工具	建設資材	建設機械	IoTソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	88,331	33,575	5,134	2,269	129,311	—	129,311
セグメント間の内部売上高又は振替高	837	36	—	41	915	△915	—
計	89,169	33,612	5,134	2,311	130,227	△915	129,311
セグメント利益	3,194	1,563	22	33	4,813	△129	4,683

(注) 1. セグメント利益の調整額△129百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していないHD管理コスト△128百万円、棚卸資産の調整額△2百万円、固定資産の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	機械・工具	建設資材	建設機械	IoTソリューション	計		
売上高							
外部顧客への売上高	78,447	33,147	5,598	2,775	119,968	—	119,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	811	42	—	48	903	△903	—
計	79,259	33,190	5,598	2,824	120,871	△903	119,968
セグメント利益	1,305	1,256	87	175	2,825	△106	2,718

(注) 1. セグメント利益の調整額△106百万円には、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していないHD管理コスト△105百万円、棚卸資産の調整額△2百万円、固定資産の調整額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。